



熊本地震支援ニュース

2016年7月1日 NO. 3

発行：聴覚障害者災害救援対策本部 本部長 石野 富志三郎
事務局：一般財団法人全日本ろうあ連盟内
〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8F
TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445 Email：saigai@jfd.or.jp

◆聴覚障害者災害救援対策本部◆

2016年4月14日21時26分頃に発生した熊本県熊本地方での地震を受け、聴覚障害者災害救援中央本部は、同日「聴覚障害者災害救援対策本部」を全日本ろうあ連盟本部事務所（東京）に設置しました。

【熊本地震に関する報告】

6月8日（水）～12日（日）に開催された、第4回（通算第67回）評議員会、および第64回全国ろうあ者大会inとくしまで熊本地震に関する報告がされました。

報告者：松永朗氏、松本幸造氏、東禎氏、小野眞理子氏
（写真右：左より）



1 被害の状況Ⅰ（5月14日時点）

- ▶4月16日（土）深夜1時30分マグニチュード7、3地震以降の余震数 **1,441回**
- ▶避難した聴覚障害者**27人**（ろう者23、難聴者4）
- ▶※うち福祉避難所、情提センター利用者**13名**、（ろう者**9人** 難聴者**3人**、健聴者**1名**）
- ▶聴覚障害者の被害状況 家屋倒壊**1件** 屋根の瓦破損**数件** 要医療**3名**
- ▶余震も続き長引く見込み、聴覚障害者に限らず関係者は心身とも疲れている。元気を与えるケア等が必要。



1 被害の状況Ⅱ（5月14日時点）

- ▶緊急輸送道路（緊急道路）**113路線**のうち**28路線**寸断計**50カ所** 支援行動には遠回りを余儀なくされている。
- ▶道路は通れても、でこぼこあり。橋と道路の継ぎ目には**10cm**くらいの段差が多い。
- ▶使えない手話奉仕員養成会場が**5カ所**あり、うち**2カ所**は再開できている。機能不能となった市庁舎建物**3カ所**（宇土市・八代市・人吉市） 役場**1カ所**（益城町）



2 現状

- ▶会員中心に、非会員等を含めて聴覚障害者の安否はほぼ確認済み。死者**0**・家屋倒壊**1件**・要医療・要介護**3名**
- ▶生活に絶対的必要品、電気・水道・ガスは南阿蘇地方を除きほぼ復旧できている。問題は住まいである。
- ▶仮住宅建築中だが、障害者組織体KDF（熊本障害者フォーラム）（被災地障害者センター）は、仮住宅建築にあたり障害者バリアフリーが活かされたものにする事を要求している。
- ▶今は、第二段階として、生活を復旧させ平安な生活の確立を目指して県外からの協力派遣者とともに支援活動を続けている。



3 経験で思うこと

- ▶平常ろう者には手話通訳が必要と分かっているが、いざとなると置き去り状態に置かれること。今後は、災害避難所には、ろう者が居る居ない関係なく、常駐させる制度の確立が必要。
- ▶「手話あるところ我が郷土なり」と言ってもよいほど手話があるところにろう者は集まる。支援活動には2～3人1組で行動して手話をしているところを見せることで希望と勇気を与える。
- ▶手話通訳者の役割、単に意思疎通だけではなく、災害時の役割なども含めて広い意味の理解普及が必要 特に行政関係者には義務的に理解の徹底が必要。



徳島大会では、**104,810円**の支援金が集まりました。皆様のご支援ご協力に心より御礼申し上げます。引き続き、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



©2010 熊本県くまモン#熊本支援

【支援金振込口座】 ★みずほ銀行内（本・支店間）の振込は手数料免除となります
みずほ銀行 江戸川橋支店 普通預金 口座番号：1511276
名義：（一財）全日本ろうあ連盟 災害救援中央本部代表 石野富志三郎

<目標金額> **20,000,000円**
<支援金状況> **5,676,950円 / 187件**
★6月30日現在